

環境モニタリング調査計画策定方針(案)

平成26年度に検討予定している環境モニタリング調査計画の策定方針について整理する。

環境モニタリング調査計画策定方針(案)



橋梁形式決定後検討する、環境モニタリング調査の調査項目を以下に示す。

環境要素	環境モニタリング調査			説明	概略スケジュール											
	工事前	工事中	工事後			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	以降			
騒音				<ul style="list-style-type: none"> 建設作業時に発生する騒音・振動を測定し、周辺家屋に影響が出ないように監視する。 	工事予定等	橋梁詳細設計	準備工	工事の実施				開通予定	維持管理			
振動																
水質				<ul style="list-style-type: none"> 工事前、河川内で工事を実施する間、工事後に水質を測定し、周辺水域に影響が出ないように監視する。 	工事予定等	橋梁詳細設計	準備工	工事の実施				開通予定	維持管理			
地形及び底質																
植物、動物生態系				<ul style="list-style-type: none"> 工事前、工事中、工事後に渡河部周辺の潮下帯の地形測量を実施する。 底生生物調査実施時に併せて採泥し、底質を測定する。 	モニタリング調査	環境モニタリング調査計画の策定	事前調査	工事中調査				事後調査				
	鳥類															
	底生生物															
				魚類	調査結果の評価											

鳥類の事後調査については、上部工の橋桁が完成してから2年間実施することを想定している。

調査目的、調査方法、調査範囲等は、環境部会からの配慮事項を受けて検討する。